



小倉さん “県民ファーストの県政へ”

千葉県知事選挙

明るい会から 小倉正行さん

立候補表明

《小倉正行さんの略歴》

1952年 神奈川県鎌倉市生まれ
1976年 京都大学法学部卒業
日本生協連を経て特別国家公務員として
衆議院公設秘書
1994年 国会議員政策秘書就任
(2018年まで)
現在まで月刊誌「食べもの通信」編集世話人
食ジャーナリストとして活躍中
流山市在住



3月16日投票で行われる千葉県知事選挙に「明るい会」から小倉正行さんが立候補を表明しました。1月31日に千葉県庁で記者会見を開き、県営水道値上げ見送りなどを訴え、県民の命と中小企業の経営をないがしろにする県政を変える決意を語りました。

水道料金値上げ中止を

3つの重点を公約に県民の命と暮らしを守る

県庁で会見した小倉さんは、自身が立候補することで、熊谷県政の問題点を指摘して、水道料金値上げ、農業政策の転換、マンション防災の3点を焦点に県政の転換を図っていきたくないと意気込みを語りました。

千葉県は、生活や営業の基盤である県営水道を20%値上げを表明しました。本来は県民の生活の防波堤になるべきで、水道料金の値上げはストップします。

農業生産額全国4位の千葉県の食料自給率は24%で全国下位8位です。農業を生産者と消費者双方の立場に立った政策の転換をして、食の安心・安全を守ります。

直下型地震が起きたときに、危惧されるのが中高層マンションです。災害基本法で定められている通り、マンションごとの防災計画の策定をすすめます。

提案1 提案2 提案3 提案4 提案5 提案6 提案7 提案8

災害から命を守る安心・安全優先の千葉県
高齢者、障害者、子育て世代を全力で支える千葉県
子どもたち、若者の未来を拓く千葉県
中小企業・地場産業応援し、雇用が安定した千葉県
環境を守り、持続可能な千葉県
ジェンダー平等、誰もが、自分らしく生きられる千葉県
千葉県農業を強化発展させ、食の安全安心の千葉県
憲法を生かし、平和で県民が「主人公」の千葉県

【明るい会と8つの政策・協定締結】